

株式会社ギガプライズ  
2024年4月期 通期 決算説明会 質疑応答（要旨）  
（2024年6月21日開催）

当決算説明会における主な質疑応答の要旨は、以下の通りです。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう、加筆修正しております。

Q. 1	来期の増加提供戸数 14 万戸の水準について教えてください。
A. 1	前期の実績をベースに受注状況等を勘案し設定しました。新規顧客で着実に獲得できる戸数と、既存顧客の導入率上昇に伴い獲得が鈍化する部分を見据えて、来期の増加提供戸数は 14 万戸といたしました。ISP 市場は、年間 50 万戸から 60 万戸は確実に増える市場であることから、引き続きシェアを拡大できるような営業体制の強化や仕組みの構築を行っていきたくと考えております。このような取り組みやパートナーシップによって、今後も 14 万程度の水準を維持できるよう取り組んでまいります。

Q. 2	自己株式取得と配当のバランスについて教えてください。
A. 2	株主還元が重要事項と認識しており、積極的に進めていきたいと考えております。自己株取得に関してはこれまで十分に推進してきたため、持株のなども勘案し、現段階では行っておりません。株主還元については、今後も継続的に検討していきたくと考えており、期初段階で配当性向は 20 パーセント強を設定しております。

Q. 3	システム開発の成長要因について教えてください。
A. 3	主に「Future Vision Plus」という管理ソフトを販売しております。主な要因としましては、特定のお客様に対して需要が伸びたことが挙げられます。加えて、電子帳簿保存法やインボイス制度などの法改正によるシステム改修案件を受注したことが、今回システム開発の数字を伸ばしている要因になります。

Q. 4	EV 充電インフラについて教えてください。
A. 4	国の補助金によるインフラ充電設備の設置が推進されています。今回提携している Terra Charge 社の設備は、補助金を利用し不動産オーナーの敷地内に設置するビジネスモデルになります。オーナー様から設置の許可を取り、当社と Terra Charge 社が国や自治体に申請したのち、補助金が下り次第設置していきます。

Q. 5	EV 充電インフラ分野の規模は IoT ソリューションサービスの中でどの程度期待が持てるのか教えてください。
A. 5	補助金申請でリードタイムがあるため、来期計画では大きく依存しておりません。国の政策として、EV 充電の設置目標があるため、当社としても見通しが明確になれば、計画に組み入れていきたいと考えております。

Q. 6	セキュリティ対策について教えてください。
A. 6	定期的なセキュリティ対策の評価と強化を行い、最新の脅威に対応するための体制を整えております。また、全社においてセキュリティ訓練や教育の実施、サイバー保険にも積極的に加入しており、これによりデータ漏洩やサイバー攻撃からのリスクに備えております